

算数

第3学年
第4学年

育成を目指す資質・能力

【課題発見力】【表現力】【多様性に対する適応力】
【課題発見力】【表現力】【自らへの自信】

第3学年 「べつべつに、いっしょに」～ハイキングに行こう～ 第4学年 「調べ方と整理のしかた」～ハイキングに行こう～

【単元の概要】

複式授業の特性を生かし、3・4年生それぞれが単元で学習したことを活用し、チャレンジ問題を解決することで単元での学習内容について理解することに加え、異学年との協同性を育てる単元となっています。チャレンジ問題では、一緒にハイキングに行くという場面を設定しています。このことを単元の始めに提示することで、児童は、課題を解決したいという気持ちを高め、それぞれの学年に応じた学びを積極的に進めていきます。

◆単元の目標

3年：乗法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすことができる。

4年：身近な事象を二つの観点から分類・整理し、二次元の表を用いて、その事象の特徴を調べることができる。

◆3年：単元の計画（全5時間）

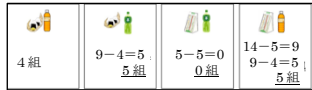
◆4年：単元の計画（全5時間）

【課題の設定（0.5時間）】ハイキングに行こう 《チャレンジ問題を提示し、学習意欲を高める》

木江小学校の3・4年生と杉本先生の14人で、大崎下島にハイキングに行こうと思います。昼食は、お店で注文します。食べ物はおにぎり200円かサンドイッチ240円、飲み物は、お茶160円かジュース160円です。希望をとると、次のようになりました。

おにぎりを選んだ人	9人
お茶を選んだ人	5人
おにぎりとジュースを選んだ人	4人

昼食代を集めると、何円になりますか。



木江小学校の3・4年生と杉本先生の14人で、大崎下島にハイキングに行こうと思います。昼食は、お店で注文します。食べ物はおにぎり200円かサンドイッチ240円、飲み物は、お茶160円かジュース160円です。希望をとると、次のようになりました。

おにぎりを選んだ人	9人
お茶を選んだ人	5人
おにぎりとジュースを選んだ人	4人

昼食には、どんな組み合わせがありますか。また、それぞれいくつずつ注文すればよいでしょう。

【情報の収集（0.5時間）】

- 6つずつあるジュースとみかんの代金を、「別々に考えて」と「まとまりを考えて」の2通りの考え方で求める。

【整理・分析（1時間）】

- 8つずつある鉛筆とキャップの代金を、「まとまりを考えて」の考えを使って $(a+b) \times c$ で求める。

【情報の収集（1時間）】

- バス代と電車代の5人分の交通費の違いを求める場面、バス代と電車代を「別々に考えて」と「1人分の違い」の2通りの考え方で求める。

【整理・分析、まとめ（1時間）】

- フェリー代と高速艇代の6人分の交通費を求める場面、 $(a-b) \times c$ を基に解く方法で求める。

【実行、振り返り（1時間）】

- 木江小3・4年生と先生の14人でハイキングに行く場面において、4年生から聞いた注文の組み合わせと値段の情報を基に、既習事項を活用して昼食代を求める。
《チャレンジ問題》※結果を4年生に伝える。

【情報の収集（0.5時間）】

- 「1週間のけが調べ」の記録から、2つの観点（けがをした場所・けがをした種類）で分類・整理された二次元の表のよみ方を知る。

【情報の収集、整理・分析（1時間）】

- 「1週間のけが調べ」の記録から、2つの観点（けがの種類・体の部分）について調べ、二次元の表にまとめる。

【整理・分析（1時間）】

- 果物の注文のアンケートの結果から、二次元の表を使って、注文した数を求める。

【まとめ・創造・表現（1時間）】

- 木江小3・4年14人でハイキングに行く場面、既習事項（二次元の表にまとめる）を使って、昼食のお弁当と飲み物の数を求める。
《チャレンジ問題》※結果を3年生に伝える。

【実行、振り返り（1時間）】

- 二次元の表を使った問題を解き、これまでの学習について振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	くじびきゲームをしよう 1年「たしざん(2)」
	2	おはじきとりゲームをしよう 2年「かけ算(1)」
	3	ケーキが大きいのは どちら 3年「分数」
	4	ケーキが大きいのは どちら 4年「分数」
	5	そろえて比べて「山海島」 5年「単位量あたりの大きさ」
	5	体力づくりをしよう 5年「平均とその利用」
	6	体力づくりをしよう 6年「およその形と大きさ」